

しずかな海に向いて：
相馬原釜地区の笠岩公園前に建立された207名の慰霊碑



撮影：2014年5月（福島県・相馬市原釜）

◆ 3年経過して慰霊碑建つ

相馬の海はどれだけ蘇ってきたのでしょうか。震災で破壊された漁業関連基盤の再生が進み、漁具倉庫施設等の完成により、水産業の早期経営再開を目指します。しかし、埠頭に並ぶ漁船からは元気な漁師の声は聞かれません。風評被害が根強く漁に出ない日が続きます。

◆ 原釜海水浴場の復活はまだ

相馬の海にはエネルギー重要港湾、相馬漁港、海水浴場の3つの特性があります。夏季には福島方面から海水浴目的の車が渋滞し、風光明媚な松川浦周辺に活気をもたらしました。海水浴場の1日も早い復活が望まれます。

岡村幸二（JRRN会員）